

津波および高潮による被害リスク推定の実務への適用性向上と高度化に関する研究

本多, 和彦

<https://hdl.handle.net/2324/4784725>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (工学), 論文博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	本多 和彦		
論文名	津波および高潮による被害リスク推定の実務への適用性向上と高度化に関する研究		
論文調査委員	主査	九州大学	教授 橋本 典明
	副査	九州大学	教授 濱田 秀則
	副査	九州大学	教授 山城 賢

論文審査の結果の要旨

本論文は、津波および高潮の流体解析モデルの境界処理手法の改良、津波による漂流物と建物被害の数値解析モデルの開発、港湾施設の津波被害リスク評価手法と台風の最大旋衡風速半径の確率評価手法の提案、経験的台風モデルの各種パラメータの感度分析、機械学習を用いた3次元流体解析の代替解析モデルの提案など、津波および高潮の流体解析に資する数多くの有用な知見を示したものである。これらは、津波および高潮による被害リスク推定の実務に対して重要な知見を与えるものであり、海岸工学上価値ある業績であると認める。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。

なお、本論文については試験を行った結果、満足な回答を得られたので、試験に合格したものと認める。